

分野	品格あるくまもと	戦略	低炭素・循環及び共生を基調とした持続可能な社会
		重点的に取り組む施策	健全な水循環と水環境の保全

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上: H22予算 中: H22決算 下: H23予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
1	熊本地域地下水保全協働推進事業	1,565 997	熊本地域地下水対策会議が策定した「熊本地域地下水総合保全管理計画・第1期行動計画」に掲げられた地下水かん養対策や持続的な仕組みづくりに向けた施策等の進行管理を行う。	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 対策会議を開催し、熊本地域における今後の地下水保全の中核となる組織の平成24年度実働に向けて取り組んでいくことなどについて基本合意を得た。 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関とともに、地下水保全管理のための設立を図る。 地下水かん養事業について、関係機関との調整を引き続き行う。
	環境立県推進課	1,634		
2	地下水位監視事業	6,721 5,646	県内33カ所の観測井の水位を毎月測定して、地下水位の変化を監視する。	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月の定期観測を着実に実施するとともに、設備が老朽化したり故障したものは適宜交換・修理を行った。 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 監視を継続する。
	環境立県推進課	6,126		
3	節水推進事業	979 162	地下水量の保全のため、企業や水道事業者等と連携して節水に取り組むとともに、熊本県地下水保全条例に基づき、地下水採取量の把握を行っている。	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 県からのたより8月号で、水の大切さを広報した。 節水機器取り付けの実態について、メーカー等から情報収集を行った。 節水及び水合理化、雨水利用等の実態について調査を行った。 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村と連携した節水の広報活動を継続する。 地下水採取量報告の提出率を向上させるとともに、内容の確認を徹底する。
	環境立県推進課	947		
4	熊本の水資源保全活用事業	11,500 11,290	地下水保全に向けた基礎的な情報を把握するため、熊本大学地下水研究室と協働し、森林の有する地下水かん養能力について、平成22年度～平成23年度の2カ年にわたる現地調査を実施している。	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 「湧水実態調査」を実施して、主な湧水源50ヶ所の管理状況等を整理した。また、「湧水源を活用した地域活性化事業」では、池山水源周辺の景観整備・広報啓発を行った。 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 「森林の有するかん養効果に係る調査研究事業」として、かん養量についての実測調査を継続し、データを解析する。
	環境立県推進課	3,500		
5	熊本の水「夢戦略」事業	2,033 844	<p>質量ともに優れた本県の地下水による熊本の地域イメージや付加価値向上についての検討を行うとともに、新たな地下水かん養策の推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有識者による水の戦略会議の開催 熊本県地下水保全条例の見直しに向けた取組 熊本地域（台地部）地下水かん養実証事業 	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度に引き続き平成22年度も戦略会議3回開催して、最終提言をいただいた。 外部有識者による検討委員会を設置して、熊本県地下水保全条例の改正について4回検討会を開催した。 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <p>-</p>
	環境立県推進課	-		
6	地下水の未来のための保全活用事業（環境立県推進課分）	-	地下水保全条例の改正により地下水採取の規制を強化するとともに、広報啓発を行い、県民・事業者等の地下水保全に向けた協働体制への参画を図る。	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <p>-</p> <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 地下水保全条例改正と「地下水保全キャンペーン」を並行して進める。
	環境立県推進課	5,261		
7	地下水の未来のための保全活用事業（環境保全課分）	-	熊本地域及び荒尾地域硝酸性窒素削減計画に基づき対策を推進しているが、窒素負荷の実態把握を基に、現在の取組に関する効果検証と将来予測を行うことを目的に熊本市と共同で熊本地域における3次元シミュレーションモデルの開発を推進する。	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <p>-</p> <p>事業実施上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> シミュレーションの結果は熊本地域、荒尾地域硝酸性窒素削減計画での取組内容へフィードバックし、今後の対策について必要に応じて修正し、より効果的な対策に繋げる必要がある。
	環境保全課	10,122		

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上: H22予算 中: H22決算 下: H23予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
8	地下水質監視事業	11,271 6,372	地下水の水質汚濁状況を監視し環境基準達成状況の評価等を行い、また地下水汚染防止のため工場等に対し監視、指導を行う。 ・水質汚濁防止法第15条に基づき地下水の水質調査を実施し、環境基準達成状況を評価する。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・地下水質測定計画に基づき調査を行い、環境基準不適合の井戸所有者に対し飲用指導を実施した。 ・8事業場に立入調査を実施し、排水基準を超過した1事業場に対し改善指導（厳重注意）を行った。
	環境保全課	7,655	・県地下水保全条例に基づき対象事業場に立入調査を実施する。 対象施設、関係帳簿類等の検査 排水や井戸水の行政検査	事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・今後も調査を実施し、水質汚濁状況を監視する。 ・地下水の環境基準項目に新たに追加された1,4-ジオキサン等の基準達成状況の評価する。
9	水環境教育・県民運動推進事業	2,845 1,426	子どもたちを対象とした水環境教育を実施するとともに、行政、民間団体、県民が連携して、熊本のきれいな川や海を健全な姿で次世代へ継承していくための県民運動を展開する。 ・水の学校（小学校）、水のお話し会（幼稚園・保育園）	平成22年度の取組みの実績、成果 ・水の作文コンクールへの応募数は9年連続日本一を達成したほか、みんなの川と海づくりデーや県民大会の参加者も年々増加している。 ・みんなの川の環境調査は指導者研修会を2回開催するとともに、46団体、1,934名の参加があった。
	環境立県推進課 環境保全課	2,699	・水の作文コンクール（中学校） ・みんなの川と海づくりデー ・みんなの川と海づくり県民大会 ・みんなの川の環境調査	事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・それぞれの事業の周知を図り、応募数や参加者数を年々増加させる。
10	水質環境監視事業	26,743 16,131	公共用水域の水質調査を行い水質の汚濁状況を監視し環境基準達成状況の評価等を行う。 ・水質汚濁防止法第15条に基づき公共用水域の水質調査を実施し、環境基準達成状況を評価する。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・公共用水域水質測定計画に基づき調査を実施した。 ・水浴場19箇所にて調査を実施した。 ・水生生物モニタリング調査を35箇所にて実施した。 ・水俣湾における水質、底質等の水銀値を調査した。
	環境保全課	26,436	・主要水浴場（18箇所：年間利用人口5000人以上）調査を実施し水浴場の水質の状況を把握し、衛生指導に繋げる。 ・河川における水生生物モニタリング調査で水質の多面的な把握を実施する。 ・水俣湾環境対策基本方針に基づき水俣湾の環境調査を実施する。	事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・今後も調査を実施し、水質汚濁状況を監視する。 ・平成18年度から環境基準に水生生物の生息又は生育環境の保全の観点から新たに「亜鉛」が設定された。今後、環境基準の類型指定に向けた準備が必要。
11	有明海・八代海環境調査事業（H22は「水質環境重点調査事業」）	11,264 6,848	近年、有明海及び八代海の一部海域において水質環境基準未達成となる状況が見られる。このため、水質濃度上昇の要因やメカニズムの検証に資する基礎資料を得ることを目的として、平成21年度から5ヶ年計画で海域水質の重点的な調査を実施している。また、平成23年度からは環境省からの委託事業として関係5県共同で広域かつ長期的な調査に取り組む。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・5ヶ年計画で調査を行っておりいる段階であるが、濃度上昇の要因の一つとして、成層の形成、過去から堆積した栄養塩類の海底底質からの溶出・巻き上げ等が示唆されるデータが得られている。 ・結果は、中間とりまとめとして県環境審議会水保全部会に報告した。
	環境保全課	14,798		事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・今後、結果の評価については専門家とも相談しながらより正確な評価に繋げ、更なるデータの蓄積を図る。 ・メカニズム解明、原因の究明や効果的な対策検討については極めて難しい領域である。モニタリングを継続し科学的知見を積み重ねる必要がある。
12	生活排水処理構想策定事業	7,500 5,015	地域の実態にあった効率的・効果的な生活排水処理施設を整備するとともに、適切な管理を推進するために、県民・市町村・県それぞれの役割を明確にしたうえで、一体となって取り組んでいく方向性を示した新たな生活排水処理構想「くまもと生活排水処理構想2011」を策定する。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・「くまもと生活排水処理構想2011」（素案）を作成した。
	下水環境課	-		事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・今後、パブリックコメントを実施し広く意見を集約して、新たな「構想」を策定するとともに県民に周知していく必要がある。
13	浄化槽整備事業	293,653 253,169	公共用水域の水質保全を図るために、浄化槽（個人設置型・市町村設置型）の整備に対する補助を行う。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・市町村設置型浄化槽については10市町村への補助を行い、260基の整備が完了し、個人設置型については、38市町村への補助を行い、1,882基の整備が完了し、適正に汚水の処理を実施できる状況となった。
	下水環境課	274,813		事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・浄化槽の整備にあたって、法定検査の受検率が低い等、維持管理については大きな課題が残っている。適正な管理が担保される市町村設置型による整備等を推進する必要がある。また、生活雑排水を処理できない単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に転換していく必要がある。

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上: H22予算 中: H22決算 下: H23予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
14	農業集落排水施設整備 推進費	113,197 113,197	農業集落におけるし尿・生活排水等の汚水・雨水を処理する施設の整備を行う市町村に対し補助を行う。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・平成21年度に整備した京泊地区(玉名市)外6地区について、後年度交付金(6.5%)を交付した。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・効率的・効果的な整備を推進するために、社会情勢の変化や地域の実態にあわせた整備計画を策定する必要がある。
	下水環境課	76,200		
15	低コスト型農業集落排水施設更新支援事業	2,2000 19,925	既存の農業集落排水施設の有効活用や長寿命化を図るための最適整備構想を策定する市町村に対し補助を行う。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・玉名市、山江村の農業集落排水施設の機能診断及び最適整備構想案を作成した。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性
	下水環境課	-		
16	団体営農業集落排水事業費	585,750 640,540	農業集落におけるし尿・生活排水等を処理する施設の整備を行う市町村に対し補助を行う。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・豊福南部地区(宇城市)外3地区において、整備を実施した。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・効率的・効果的な整備を推進するために、社会情勢の変化や地域の実態にあわせた整備計画を策定する必要がある。
	下水環境課	606,000		
17	漁業集落排水施設整備 後年交付金	3,250 3,250	市町村が行う漁業集落環境整備事業における漁業集落排水施設整備に係る地方債償還又は償還のための資金積み立てに要する経費に対し交付金を交付する。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・網田地区(宇土市)において実施した。 事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・効率的・効果的な整備を推進するために、社会情勢の変化や地域の実態にあわせた整備計画を策定する必要がある。
	下水環境課	29,640		
18	漁業集落排水施設整備 市町村補助	239,970 219,742	漁業集落におけるし尿・生活排水等を処理する施設の整備を行う市町村に対し補助を行う。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・船津地区(天草市)、佐伊津地区(天草市)、網田地区(宇土市)において整備を実施した。 事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・効率的・効果的な整備を推進するために、社会情勢の変化や地域の実態にあわせた整備計画を策定する必要がある。
	下水環境課	155,381		
19	熊本北部流域下水道建設事業	1,189,990 899,415	熊本市北部、合志市、菊陽町の公共下水道からの下水を行政区域を越えて広域的に収集・処理するための処理施設の整備を行う。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・汚水量増加に伴う熊本北部浄化センターの処理施設の増設工事 ・処理水質向上のための高度処理施設の設計 ・熊本北部浄化センターの既存施設の機能維持のための改築・更新工事 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・高度処理施設の導入及び既存施設の長寿命化工事を実施するにあたり、稼動している既存施設や処理施設への影響等に配慮した施行を行う必要がある。
	下水環境課	2,041,900		
20	球磨川上流流域下水道建設事業	196,900 366,900	錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村の公共下水道からの下水を行政区域を越えて広域的に収集・処理するための処理施設の整備を行う。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・汚水量増加に伴う多良木汚水中継ポンプ場のポンプ増設工事。 ・社会情勢の変化や地域の実情に応じた整備のために、全体計画の見直しを行った。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・既存施設の改築更新に向けた長寿命化計画の策定。
	下水環境課	28,000		
21	八代北部流域下水道建設事業	900 148,500	八代市、宇城市、氷川町の公共下水道からの下水を行政区域を越えて広域的に収集・処理するための処理施設の整備を行う。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・汚水量増加に伴う千丁汚水中継ポンプ場のポンプ増設工事。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・氷川町公共下水道においては宮原処理区宮原浄化センターの老朽化に伴い、八代北部流域下水道への接続について検討中である。
	下水環境課	5,000		

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上: H22予算 中: H22決算 下: H23予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
22	上水道事業	10,062	水道施設の適正化・合理化を推進し、安全安心な水道水の安定的な供給を図るために、水道法に基づき水道整備に係る事業認可及び維持管理の適正化等について水道事業者等の指導監督を行う。併せて、水道普及率の低い地域・地下水汚染が進んでいる地域等を対象として飲用井戸等の衛生確保を図るために井戸所有者に対する水質検査の実施・飲用指導等を実施することにより、県民に安全・安心な飲用水を安定的に供給するための施策とする。	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道事業の認可2件、変更認可9件 水道普及率86.0% (H22.3.31現在: 前年度より0.1%増) 飲用井戸行政検査451件 ダイオキシン類検査7箇所 地域水道ビジョン策定(累計33団体32プラン) 水道未普及地域モデル調査事業を2ヶ所で実施
	環境保全課	6,074		<p>事業実施上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 本県の水道普及率は全国最下位であり、簡易水道が全国で5番目に多く脆弱な水道事業が数多く存在している。今後、簡易水道の再編統合を通して運営基盤の強化を図る必要がある。
23	水道未普及地域解消対策推進事業	5,324	県内の水道未普及地域は、その多くが過疎中山間地に位置しており小規模の飲料水供給施設や飲用井戸で飲料水の確保がなされているが、湧水量の減少や水質悪化、利用者の高齢化、施設の老朽化等の多くの課題を抱えている。このため、市町村と連携して、こうした未普及地域の実態把握と未普及地域解消のための対応方を検討した。	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 山鹿市・美里町をモデル地域として小規模水道の実態調査を実施し、その結果を踏まえて住民への周知・指導を行うとともにマニュアルを作成した。 施設調査: 186件 水質検査: 209件 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p>
	環境保全課	4,889		